

野田村教育委員会

- 震災を超えて・新たな教育課題への取組
 組織の見直し・地域コミュニティ再生の取組
 □ PDCAサイクルによる推進の取組
 年間を通じた全県共通課題・モデルプログラムの取組
 □ 地域ぐるみによる「いわての復興教育」の取組
 防災教育・被災地支援交流・地域を担う人材育成の取組

村立図書館の再開支援



『 震災復興支援を通じた新たなネットワークの構築 』

～新しい公共の視点でのつながりによる震災からの教育復興～

1 地域の教育課題

野田村は、3.11の地震津波の被害により、生涯学習の拠点となる生涯学習センターが壊滅的な被害を受けた。

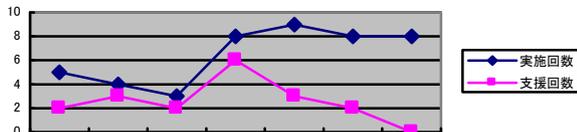
また、国庫からの支援を受けずにボランティアの力を借りて進めていた放課後子ども教室(野田キッズセンター)も、ボランティア講師の被災により、震災前のような状態で活動することが困難な状況となってしまった。

震災からの復興が生涯学習における何より大きな教育課題となった。

2 震災後の経過

(1) 野田キッズセンター

【野田村放課後子ども教室】
 震災当初は、近隣市町村のボランティアや岩手大学等の支援を受けながら、再開したが、多くの支援のおかげで震災後一年を待たずしてほぼ村内のボランティアで対応できるようになった。



《平成23年度教室開催数と支援数の状況》

(2) 野田村立図書館

生涯学習センターに併設されていた、野田村立図書館は、昨年度3月に改修工事が終わり、様々な支援を受けながら、5月から本の貸し出しを開始するところまで復興を果たした。

その間、近隣市町の移動図書館車の運行による村民への図書提供から始まり、寄贈図書の整理、再建された図書館への配架作業など、県立図書館、大学、NPO、企業、ボランティア等の支援を得て、村立図書館を中心にした新たなネットワークを築くことができた。

3 成果

(1) 野田キッズセンターの再開

平成24年度の計画の中には、震災を機につながる事ができた他市町村のボランティアの支援も盛り込んで展開している。市町村を越えての支援を受け入れることにより、震災前よりも広がりを持った事業を展開することができるようになった。

(2) 村立図書館の再開

村立図書館は、全国からの寄贈本やボランティア、近隣市町村の図書館職員の協力を受けて再開することができた。

その感謝の気持ちを込めて、村外の方々にも開放し、広く利用していただけるようにしている。今まで支援に携わってくださった方々に、『わたしたちの手で再興した図書館』という意識をもっていただき、村外からも多くの方が訪れるよう、支援事業等の積極的受け入れにも努めている。

(3) つながりをみせた5者+NPO+企業+大学

子どもたちを取り巻く教育環境の整備には、5者だけではなく、NPOや企業といった方々とも連携をとり、物的・人的支援だけでなく、全国的な活動の実践例なども取り入れることができ、新しい視点での取り組みが可能になった。

また、今まで考えられなかった、岩手大学や盛岡大学と連携を取った活動を行うことができ、大学生のボランティアの受け入れなど、新たなつながりによる取り組みを検討することができるようになった。

4 今後の展望

今回の震災支援をきっかけに、村内だけでなく、全国のボランティア・NPO・企業等とつながりを持つことができた。

このつながりを活かし、新しい公共の視点を持ちながら、今後、新たに発生してくる地域の教育課題に対して、前向きに取り組んでいきたい。